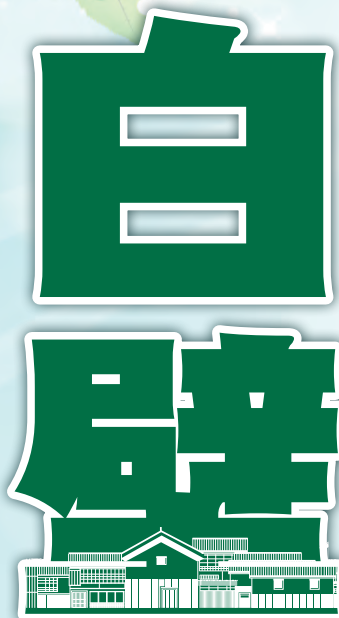


令和7年6月1日発行

倉吉市議会だより



3月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆（要約）したものを基に掲載しています。



今号の内容

市政に対する一般質問	2～9
議案に対する質疑	10～11
常任委員会	11～12
議案等の議決結果	13
特別委員会	14
臨時会・視察報告	15
飛び出せ！議場・6月定例会・編集後記	16



令和7年4月18日（金）
HOTEL 星取テラスせきがね 竣工式
～関金保育園児によるダンス～

撮影者：議会だより編集委員

令和7年3月第3回倉吉市議会定例会が、令和7年3月3日（月）から3月25日（火）まで開催されました。

会議録（質問・答弁など）は、市立図書館でご覧になれます。

市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

市議会会議録
検索システム



No. 33



【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

一般質問通告一覧表

会派名	議員名	発言通告要旨
や ら い や	山根 健資	○ 防犯・監視カメラの設置について
		○ 下水道管の管理状況について
		○ 倉吉市におけるコンパクトシティの考えについて
		○ 海外留学生への支援について
	大月 悦子	○ 国際女性デー 2025について
		○ ビジネスケアラーについて
	大津 昌克	○ 倉吉市職員の退職者について
		○ 第12次倉吉市総合計画について
	丸田 克孝	○ 職員人事、定数管理について
		○ 自治公民館自衛消防団について
		○ 琴櫻観光駐車場の有料化とトイレの設置について
		○ 夜行高速バス(東京行きキャメル号)の復活について
	田村 閑美	○ 新型コロナウイルス感染症蔓延時の融資返済開始について
		○ 西エリア地区保育所再編計画について
		○ 投票率向上に向けた取組について
		○ 関金地区の観光推進について
	藤井 隆弘	○ 集いの森について
		○ 市職員の管理について
		○ 公共施設等総合管理について
		○ 空き家・空き地対策について
	福井 典子	○ 自治公民館活動について
		○ 廃校の利活用について
		○ 学校給食と食育について

○印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載されています。

会派名	議員名	発言通告要旨
新 政 会	鳥飼 幹男	○ 旧国鉄倉吉線廃線跡トイレ整備について
		○ 商業街路灯の管理運営について
		○ 放課後児童クラブの長期休暇中の昼食提供について
		○ HPVワクチンのキャッチアップ接種の経過措置について
	鳥羽 昌明	○ 西エリア保育所再編計画について
		○ 5歳児健診について
		○ 带状疱疹ワクチン公費助成について
	福井 康夫	○ 県が創設予定の鳥取方式短時間勤務制度について
		○ 大規模災害時対応の現状と課題について
		○ 健康管理について
		○ 市役所の組織運営と人事管理について
	笠原 晶子	○ 公立保育所の再編について
		○ プレミアム付デジタル商品券について
		○ ホームページでの情報発信について
		○ 子どもの声を聴く仕組みづくりについて
	伊藤 正三	○ 带状疱疹ワクチン定期接種化について
		○ 「103万円の壁」について
		○ 地方創生について
日 本 共 産 党	米田 勝彦	○ 農業政策について
		○ フードバンク(食品の無償提供活動)について
		○ 若者の交流拠点について
	佐藤 博英	○ 職員の広報活動について
		○ トイレ増設について
		○ 琴櫻・赤瓦観光駐車場有料化について
	補聴器助成について	○ 高齢者、障がい者ごみ出し支援について
		○ 保育園問題について
		○ 補聴器助成について
		○ 補聴器助成について

定例会の一般質問
発言通告表





やらいや

やまね けんし
山根 健資

防犯・監視カメラの設置について

問 防犯・監視カメラの設置状況と今後の設置予定は。

答 現在、28施設に112台設置しており、今後も適切な場所への増設を検討する。防犯上の必要性について多様な意見を踏まえ、支援の可能性も考慮する。

下水道管の管理状況について

問 埼玉県八潮市で下水道管の破損により道路が陥没した。本市の下水道管の管理状況等は。

答 下水道維持管理指針に基づき異常の有無を確認している。八潮市にある5m級の管はなく、最大口径は1・2m。倉吉市内では下水道管の破損による道路陥没事故は発生していないが、小規模な陥没の可能性はある。

倉吉市におけるコンパクトシティの考えについて

問 本市のコンパクトシティ構想は。

答 拠点地域を公共交通で結ぶ「拠点連携型のまちづくり」を推進し、生活の利便性向上を目指している。旧市街地では空き地が増えており、土地利用の規制以外の有効な対策が必要と考えている。今後は、都市施設を有効活用しながら、中心市街地の機能維持を図っていく。

海外留学生への支援について

問 海外留学への支援は。

答 学校教育法に基づく大学等への進学が対象であり、現時点では海外の大学は対象外。子どもたちの夢を応援する思いは県も市も同じだが、県の取り組みがまだ始まっていないため、その動向を注視していきたいと考えている。



やらいや

おおつき えつこ
大月 悦子

更年期以降の女性の健康について

問 これまで健康に過ごしてきた人たちも女性ホルモンの変化により体調に支障が始まることが多い時期。要介護者を減らし、介護者を増加させるためには健康寿命を延ばすことが重要。女性の活躍の支えをするためには女性特有の悩みに対するケアが必要と考えるが。

答 まず各種検診の受診をしつかりしていただきたい。また、県が設置している更年期障がい相談支援センターの相談窓口を活用してほしい。

問 女性の骨密度測定を50歳から導入してはどうか。また、40歳後半から月経不順の症状があればエストロゲン量を問診項目に入れる必要がある。是非、取り上げてほしい。

答 更年期症状のセルフチェック、チラシなどの活用、相談窓口、健康教育を通じて啓発していきたい。

また、骨粗鬆症検診は、実施に向けて検討している。

ビジネススクアラーについて

問 ビジネススクアラーとは、家族の介護をしながら仕事を続ける人のこと。団塊世代の方が後期高齢者である75歳以上になる2025年には要介護者が増え、2030年にはビジネススクアラーが313万人以上になり、介護離職者も約11万人になると推定されているが、倉吉市職員の状況はどうか。

答 本市の職員も同様の悩みを抱えて退職する職員があるが、休暇制度の最大限の利用、組織的な対応として業務負担の軽減を図る等を行い、退職に至らないよう努めている。

また、令和4年度から従来の「子の看護休暇」を「家族の看護休暇」に改め、一人では通院等できない家族のために休暇を取得できるように見直した。介護も育児も休暇は同じように職場全体で支えていく職場風土の醸成と職員の意識付けのために休暇制度の広報、周知を引き続き努めていきたい。





やらいや
おおつ
まさかつ
大津 昌克

第12次倉吉市総合計画について

問 この計画は「元気なまち、くらしよし、未来へ！」をスローガンに策定され4年経過したが、現在の倉吉市は「元気」といえるか。

答 人口減少や少子高齢化に伴うさまざまな影響や新型コロナウイルスによる影響が残っており、コロナ後の回復がまだ十分でない中では元気であるとはいえない状況と考えている。

問 そもそも「元気なまち」とはどんな状態をいうのか。

答 地域やコミュニティが維持存続できる一定数の若者が定着し、市街地には多くの観光客が訪れ、週末やイベント時だけでなく常時人々がまちに往来し、活動しているような賑やかな状態

を「元気なまち」と捉えている。

問 令和7年度必達の重点取組は何か。

答 将来にわたり活気あふれる地域を目指し、高付加価値の農業産品化や観光誘客、また県立美術館開館やHOTEL星取テラスせきがね等、新たな資源の有効活用による賑わいあるまちづくりにつづきたい。

次に地域の未来を担う人材づくりとして、サテライトオフィス整備誘致、移住定住等支援制度の拡充、ふるさとキャリア教育など未来の倉吉を担う若者の育成。

そしてマンホールトイレの整備、危険な空き家対策、水道施設の耐震化等、防災対策にしっかりと取り組み、それらを後期計画の土台したいと考えている。



やらいや
まるた
かつたか
丸田 克孝

自治公民館自衛消防団について

問 自治公民館（自衛消防団）の現状は。

答 現在、自治公民館数は、218あり、自主防災組織は189団体で、貸与している小型動力消防ポンプは89台。毎年、ポンプメーカーや販売店の整備士による点検を実施している。

問 ある自治公民館では、近年高齢化も進み、点検不備の故障も発生しており、小型消防ポンプの維持管理も難しく、「返納して消火栓を増設しては」と、要望が出ているが、いかがか。

答 近年は、異常気象が原因と思える災害や地震等の災害でも数力所から火災の発生も起きている。そんな時こそ、地元の自衛消防団で火災現場の初期消火にあたっていたいただきたいので、ポンプは必要である。消火栓は、周辺150mの基準もあり、消防署による検討がなされている。

琴櫻・赤瓦観光駐車場の有料化とトイレの設置について

問 琴櫻・赤瓦観光駐車場を有料化できないか。

答 バス回転広場の駐車場は、平成20年度に国土交通省の所管する以前のまちづくり交付金を活用して整備をされたもので、結構年数も経っているので、有料駐車場とすることは可能な状況にある。

問 琴櫻・赤瓦観光駐車場の中にトイレを設置することはできないか。

答 平成30年に、市がマイス協会事務所の建屋の改修に合わせ、トイレを3基増設し、少なからず解消はできたところだが、場合によっては行列ができ、不足も認識しているので、駐車場の在り方と併せて検討をしている。

夜行高速バス（東京行きキヤメル号）の復活について

問 夜行の高速バスの復活はどうか。

答 新型コロナウイルスの感染拡大で利用者が非常に減少したことで廃止となり、その後も復便の可能性を模索してきたが、ドライバー不足が最大の課題。交通事業者等にも伺ってはみる。が早期の復活は難しい。



やらいや
たむら

田村 閑美

投票率向上に向けた取り組みについて

問 令和7年度は参議院議員選挙、倉吉市議会議員選挙、倉吉市長選挙の予定があるが、本市での主権者教育への取り組みはどのようなものか。

答 小、中学生には9年間、主権者としての教育を積み重ねること、社会に参画し、責任ある行動をとるための基礎的な力を身につけることや、世の中の出来事に対して当事者意識を持って行動する力を育むこと等、系統的に積み重ねる取り組みを行っている。

問 10代の投票率を上げるためにどのような取り組みをしているか。

答 【選挙管理委員会委員長】
高校生向けの主権者教育として、県選挙管理委員会が市町村選挙管理委員会と協力して、公立、私立を問わず高校側の希望

日や実施内容を調整し、出前授業を毎年実施している。

また、新たに鳥取看護大学、鳥取短期大学で試験的に期日前投票所を開設したいと考えており、学生の投票環境を整えることにより、選挙や政治をより身近に感じてもらう効果を期待している。

関金地区の観光推進について

問 この地を生かしていくべきはスポーツ合宿の誘致ではないか。これを生かす仕組みづくりをし、本気で関金を盛り上げないといけないのでは。

答 関金はスポーツ合宿の聖地といってもいいほどの優れた環境。一層、誘致には努める必要があると思っている。令和7年度の新規事業では、倉吉コンベンション等情報発信業務としてパンフレットの配布やウェブサイトでの呼びかけをし、合宿先としての倉吉の魅力を県外に発信していくと考えている。



やらいや
ふじい

藤井 隆弘

市職員の管理について

問 倉吉市職員の数に類似団体と比べてどうなっているか。休職者と退職者の実態を問う。昨年12月議会可決の倉吉市ハラスメント防止条例の制定後の状況とカスタマーハラスメントの市役所での実態と市長の考えは。

答 正規職員は418人で、国の調査によると類似団体134市の中で低い方から11番目。休職者は10〜15人で推移し、多くはメンタル不調が原因。退職者は過去5年間で最も多い20人。ハラスメント防止条例制定後の相談は受けていない。カスタマーハラスメントの事例は市役所でも発生している。対応マニュアルを作成中で、近日中に制定できると思っている。

問 人手不足が疲労感、仕事に

対する姿勢、住民サービスの低下につながらないか心配。市職員は元氣か。働き盛りの職員が働き続けられる環境・対策が必要だと考えるが市長の考えを問う。ハラスメント防止のネットワークが個人情報取り扱いだと思えるが、市長の考えを問う。全国の自治体でカスタマーハラスメント防止条例や具体的な取り組み事例がある。倉吉市の今後の取り組みは。

答 若い職員と「市長とはなし」し「よいや」では、明るく忌憚ない意見を発言していただいているので、そこそこ元氣な状況だと思う。市職員がメンタルで悩むことがないよう、風通しのいい何でも言える職場環境を築くよう努力したい。ハラスメント防止では、個人情報の保護には十分配慮した中で対応することが重要。カスタマーハラスメントの事例紹介もあったが、他の自治体の状況等も踏まえながら必要に応じて対策をとっていくと考えている。





やらいや

福井 典子

廃校の利活用について

問 今後避けることの出来ない廃校、廃園による施設の利活用について行政として何ができるか、どう考えているか。

また、担当部局が3つにわたり一本化されていないことが問題解決を遅らせていないか。

答 避難所としての機能を維持しながら利活用を一層促進するために、こういった方策があるか関係課が一緒になって地域とよく話す場を形成することは重要。検討して対応し、有効利用を早期に図るよう繋げていきたい。

学校給食と食育について

問 実施状況と今後の課題は。

答 給食センターには栄養管理の他に食育指導をする栄養教諭1名、学校給食の管理や食育のサポートを行う学校栄養職員2名が勤務し、全小中学校の全学年を対象に、学校と連携して食育に取り組んでいる。ふるさとキャリア教育として学校給食の食においても、子どもたちが倉吉に誇りと愛着を持つための導入として大きな役割を果たしている。食に触れたり農業体験などの機会をつくっていく。

観光のまちづくりの推進について

問 琴櫻・赤瓦バス回転広場周辺にトイレの設置が必要では。

答 利便性の高い観光トイレの設置は、駐車場の在り方と併せて検討していく。



新 政 会

鳥飼 幹男

旧国鉄倉吉線廃線跡トイレ整備について

問 旧国鉄倉吉線廃線跡は、県外からも多くの人が訪れる人気スポットとなっている。しかし、平日は観光案内所内のトイレの利用ができない。観光地のトイレは旅行の重要なコンテンツであり、不便だと観光地のイメージを悪化させるが、トイレ整備の考えは。

答 周辺住民からの要望もあるので、常設トイレの整備に向けて検討を行う。

関金温泉街路灯の管理運営について

問 商業街路灯が支柱の腐食等で倒壊する事故が全国で起っている。賠償責任が発生すれば、道路占有者である商店会が負うことになる。関金温泉街路灯管

理組合では、老朽化や組合員の減少が進む中で街路灯を撤去して、管理組合の解散も検討されているが本市としての考えは。

答 街路灯の撤去は管理者の判断なのでやむを得ないが、交通安全や防犯上の観点から必要な街路灯もあることを考えれば、既存の補助制度を活用して維持できないか、今後の対応について関係者と協議してみたい。

放課後児童クラブの長期休暇期間中の食事提供について

問 小学校の夏休み期間中の児童クラブにおける昼食提供について、こども家庭庁は全国の食事提供事例集を発表して、食事提供を検討するよう促しているが、本市の考えは。

答 保護者と弁当業者との間で、効率よく運営のできる注文システムを開発して取り組んでいる所もあり、研究して対応可能であれば食事提供に取り組むことも考えてみたい。



新
政
会

とば まさあき
鳥羽 昌明

西エリア保育所再編計画について

問 新保育所整備予算が認められなかったことで、老朽化する既存3園の修繕をどう進めるか。

答 高城保育園は雨漏りの症状が確認されていることから、屋根材の葺き替えや保育室等の床材等の剥がれなど、大規模な改修の検討も必要となる。

問 計画の遅れによる整備コスト増加の懸念は。

答 財源に予定している地方債が令和8年度までの時限措置であるだけでなく、既存施設の大規模修繕も同時に必要となる。有利な財源もなくなり、建設物価・人件費も高騰すれば財政負担も相当膨らむと予想している。

問 横田以外の代替地の見込みは。

答 これまで保護者や地域との意見交換の中で、一定の理解を得て候補地の方向性をまとめてきた。一から改めて選定していくことになれば、時間が相当喪失することになりかねない。現時点で横田以外の新たな候補地は持ち合わせてはいない。

問 事態の打開に向けて、設置者・予算提案者である市長が主導し、市執行部、議会、保護者、住民、保育士らによる5者協議の場を持つべきでは。

答 議論の停滞、計画の長期化は本意ではない。ご提案いただいた一歩踏み込めるような関係者の協議の場を経ながら、早期の保育園設置、子育て環境の整備に向けてしっかり取り組んでいきたい。



新
政
会

ふくい やすお
福井 康夫

公立保育所の再編について

問 少子化により地域から、いろいろな物が消えていく。公立保育所の再編について、議会の否決が続くことで合同保育所や園の一部廃園も避けがたいと危機感を持つ。最大の被害者は当該の園児たちであり、その保護者ではないか。

新たな再編のための提案について、時期と考え方を問う。

答 保育所再編代替案は、早ければ6月議会に提案したい。候補地については、計画段階で予定していた横田も排除せず、検討していく。

大規模災害時対応の現状と課題について

問 集落の住民との連絡手段の確認、通信網と代替道路の確保。避難場所やヘリコプターの発着場所等の調査、物資の備蓄体制づくりを問う。

答 今後、県は災害孤立対応基本方針と孤立可能性集落対応カルテを作成し、市町村や警察、消防と共有することになる。この基本方針には応急対策の迅速な実施が含まれ、カルテには住民代表の連絡先や孤立時の滞在施設、ヘリコプター着陸場所などがまとめられることになっている。住民は、孤立集落となった場合、支援が届かない期間を自覚し、自助・共助の重要性を認識する必要がある。自主防災組織防災資機材等や整備費補助金なども活用しながら、水や食料の備蓄、停電対策、通信手段の確保など、地域と協力して対策を進めていこうと考えている。





新政会

じくはら
しょうこ
新原 晶子

带状疱疹ワクチン定期接種化について

問 定期接種開始年齢の引下げや経過措置の見直しについて、国への要望を続ける考えはあるか。

答 定期接種対象者は、年度内に65歳を迎える方と60歳から64歳までの免疫機能に一定の障がいをする方。令和7年度からの5年間は経過措置として、70歳から100歳までの5歳刻みの年齢を迎える方、及び令和7年度に限り100歳以上の方も対象となる。開始年齢の引下げや経過措置の見直しについては、必要に応じて国に要望を考えてみたい。

子どもの声を聴く仕組みづくりについて

問 試験導入中の健康観察アプリの全校展開予定は。相談員だけが見る仕組みは可能か。

答 県教育センターは今年度末で試験運用を終了するが、好評だったため、全県で活用できる独自のアプリを作成する予定であり、完成後には倉吉市でも導入したいと考えている。

新しいアプリには相談ボタンや、相談したい相手を見童生徒が選択できる機能、気分の悪化を早期に把握するためのアラート機能などが検討されている。スクールカウンセラー等だけの専用LINEのようなものは難しいかもしれないが、県教育センターに話してみたい。



新政会

いとう
しょうぞう
伊藤 正三

地方創生について

問 国は、細やかな仕組みを設けて地方自治体の活動を規制するのではなく、自己責任の下、自治体の自由に任せて計画づくりへの労力を減らして、若者定住による人口増加といった「成果」の達成を最優先するべきだと考えるが、市長の考え方はどうか。

答 地方創生交付金は倍増され、交付金の申請もしやすくなったり、申請件数の上限も引き上げてもらえたりして、使い出が良くなった。この新しくなった制度を十分活用して、地域の活性化に向けて成果が見える年度にしたい。

農業政策について

問 日本のコメの生産量は、長年の「減反」政策により、2000年時点では950万トンだったのが、今は750万トンに減っている。コメの供給能力が縮小し続けている以上、コメの価格は中長期的には下がらない。むしろ、上がるのではないか。

答 倉吉市においてもコメの価格は、1年で1・6倍に高騰している状況である。政府としてもコメ価格高騰対策として、備蓄米21万トンを市場に供給するとしているところであるが、これが実行されれば価格高騰も落ち着くのではないか。

本市においても、農家の減少が進んでいて、令和元年では、1,000戸を超えていたものが、令和6年は794戸、5年間で280戸、27%も減少している。ただ、農業の集約化やAIを使った最新の技術の浸透を図って生産力を上げる取り組みに引き続き支援を行い、地元のコメの安定的な供給に寄与していきたい。



新
政
会

よ
ね
だ
か
つ
ひ
こ
米田 勝彦

フードバンク(食品の無償提供活動)について

問 個人や団体から食品を受取り、それを希望者に配布する組織で、食料を無駄にしない取り組み。農林水産省の資料によれば、まだ食べられるのに、私達は毎日おにぎり1個捨てていることになる。国は食品ロス削減推進計画の作成を自治体に求めている。市は作っているか。

答 第2次倉吉市環境基本計画の中に食品ロス削減を定めている。これを国が求める削減推進計画として位置づけている。

問 生活保護の方がフードバンクを利用した場合、受取った食料品は収入と見なしてその分は、支給額を減額するのか。

答 国は原則、収入としてない。市も減額は、一切していない。

若者の交流拠点について

問 点在している若者を集約してそのエネルギーをまちづくりに生かすために、若者が集える場所を作ってはどうか。

答 市は、このたび、島根銀行の旧倉吉支店にレンタルやシェアオフィスの整備を提案している。建物のさまざまな活用を考える中で、若者が交流できる拠点的な利用も可能性はある。設置について、検討したい。

職員の広報活動について

問 職員の名刺は自己負担で作っている。市が負担してはどうか。

答 仕事で使うものについては、自己負担することなく対応できるように指示している。



日
本
共
産
党

さ
とう
ひろ
ひ
で
佐藤 博英

トイレ増設について

問 琴櫻・赤瓦観光駐車場へのトイレ設置を早急に取り組んで欲しいが。

答 倉吉の観光地の窓口、玄関なので対応する必要がある。検討させていただきたい。

高齢者、障がい者ごみ出し支援について

問 要介護や身障者手帳をもっている方はある程度支援があるが、それ以外の方々への支援は全くなく、大変な状況になりつつあるが。

答 各種制度では、生活支援コーディネーターなどが一緒になって課題解決に当たっているところ。また、地域や自治公民館等の共助ということで対応し

ている方もあろうかと思う。課題解決に向けたいい方策について、引き続き考えていきたい。

問 安否確認、現地把握、ゴミ屋敷問題などのためにも仕組みづくりをしてほしい。

答 対応策をよく検討して、制度設置について検討してみる。

補聴器助成について

問 補助金の引き上げ、65歳以下であっても必要な方は対象にできないか。

答 今のところ考えてないが、国・県にも要望しながら連携した支援を模索したい。他の市町村の実態も研究しながら支援のあり方を検討していきたい。





【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。



市議会提出議案

議員名	通 告	担当部局
竺原 晶子	水道事業 倉吉市水道事業給水条例の一部改正について	上下水道局
大津 昌克	設 管 条 例 倉吉パークスクエアの設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務部
	水道事業 倉吉市水道事業給水条例の一部改正について	上下水道局
鳥飼 幹男	水道事業 倉吉市水道事業給水条例の一部改正について	上下水道局

設 管 条 例 …議案第31号 倉吉パークスクエアの設置及び管理に関する条例の一部改正について

水道事業 …議案第38号 倉吉市水道事業給水条例の一部改正について

主な質疑・答弁

倉吉パークスクエアの設置及び管理に関する条例の一部改正について

Q ふれあい広場、集いの森、多目的広場とはどこか。

A ふれあい広場の場所は、パークスクエア内のエースパック未来中心のアトリウムと食彩館、市営温水プール、交流プラザの施設の中間に位置している広場。集いの森は、整備した飲食物販施設やランドスケープ、その周辺を含むエリア。

多目的広場は、パークスクエア南側の屋外遊具が設置してあるエリア。

Q 行為の許可（行商、写真または映画の撮影、興業など）についての規定では、禁止行為だったものが行為の制限に変わったということがあるが、具体的なことか。

A パークスクエアは公共の施設なので、公共の福祉に反することや利用している市民の皆

さんの邪魔になったり、不便を来すことがあってはならないので、行商、写真または映画の撮影、興業などについては、事前に教育委員会や市から許可を取っていただきたい。

Q ふれあい広場の占用については限定しているが、集いの森、多目的広場については占用は想定していないか。

A 集いの森と多目的広場については、使用形態、利用形態が家族であったり子ども連れ等の方が自由に使用していただくことを主な使い方として想定している。

特段の事情がある場合は、行政財産の使用申請書を出していただき、その都度、判断していくことになる。

倉吉市水道事業給水条例の一部改正について

Q 審議会での主な議論は。

A 水道維持の重要性、耐震化更新の目標設定の妥当性、料金改定が物価高騰の中で市民に与える影響、市のこれまでの取り組みと今後の事業の進め方などが話

し合われた。答申では、令和22年度までに基幹管路の耐震適合率を40%にすること、耐震化を推進するために20%程度の料金引上げが必要であること、料金引上げ等を考慮した収支計画を定期的に検証することなどが示された。附帯意見として、丁寧な周知や料金体系の見直し検討も求められた。

Q パブリックコメントの結果と市の対応は。

A 耐震化更新は、計画通りまたはもっと早く進めるべきという意見が76・6%を占めた。水道料金の20%引上げは、やむを得ないとする意見と引上げ幅は抑制すべきとする意見を合わせると77・5%となった。これらの結果や議会での意見を総合的に勘案し、審議会答申の20%の料金引上げに対し、5%相当を一般会計が負担し、料金は15%の値上げとすることになった。

Q 料金改定で負担はどう変わるか。

A 単身世帯（口径13ミリ、8立米使用）では、月額約120円の増。3・4人世帯（口径13ミリ、20立米使用）では月額約350円の増。料金体系につい

ては、今後さまざまな機会を通じて説明が行われる予定。

Q 耐震化の目標と進捗は。

A 令和22年度までに40%とすることが目標として設定されている。これは、事業費の確保や工事の受け入れ側の制限などを考慮した、実現可能な目標。令和5年度末時点での進捗率は15.0%（23・8キロメートル）であり、単年度あたり約2・3キロメートルを進める計画。単純計算すると、100%達成には50年以上かかる見込み。国に対しても支援を要望している状況。

Q 一般会計からの補助はなぜか。

A 地方公営企業法第17条の3に基づき行われる。この条文は、災害復旧その他特別の理由により必要がある場合に、一般会計から水道事業会計へ補助することを認めている。能登半島地震の教訓を踏まえ、災害時の水の確保が極めて重要であることから、水道事業の防災対策強化のために一般会計が補助を行うことは合理性が高いと判断された。今回の一般会計からの負担は、令和7年度から10年度までの4年間で約1億円となる見込み。

【常任委員会】

【常任委員会とは？】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

予算決算常任委員会

委員	大津 昌克 委員長					
	藤井 隆弘 副委員長					
	朝日 等治 委員	伊藤 正三 委員				
	大月 悦子 委員	佐藤 博英 委員				
	笠原 晶子 委員	田村 閑美 委員				
	鳥羽 昌明 委員	飼 幹男 委員				
	福井 典子 委員	福井 康夫 委員				
	福谷 直美 委員	丸田 克孝 委員				
山根 健資 委員	米田 勝彦 委員					
所管	予算決算に関する事項について					
	審査・調査					

予算決算常任委員会（以下、予算委員会）には、令和7年度の一般会計および10件の特別会計、2件の企業会計、さらに3件の令和6年度補正を含め合計16件の予算議案が付託されました。令和7年度の当初予算は、332億6,801万4千円と過去2番目の規模であり、特別会計、企業会計を含めた予算総額は509億1,047万5千円となり令和6年度に比べ15億2,799万5千円、2・9%の減となりました。

この予算委員会での当初予算審

査は、令和6年3月議会に続いて2回目です。予算は、歳入歳出の他、債務負担行為、地方債、繰越明許費等を審査します。それぞれの所管を3日間に振り分けて、時間をかけ丁寧に審議が行われました。時には議員の質問と執行部の答弁がかみ合わないこともあります。そういう時は委員長が議事の整理、調整を行います。それらの事態に備え、委員長はあらかじめ議案内容をしっかりと頭に入れ、審議の内容が一般市民にわかりやすくなるよう議事の運営に努めています。

審査の結果

付託された議案はすべて、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

令和7年
3月
第3回
定例会



厚生文教常任委員会

委員	山根 健資 委員長	
	福井 典子 副委員長	
委員	大月 悦子 委員	大津 昌克 委員
	笠原 晶子 委員	鳥飼 幹男 委員
	福井 康夫 委員	藤井 隆弘 委員
所管	市民生活部、健康福祉部 教育委員会	

厚生文教常任委員会には、議案5件が付託され、委員会審査が行われました。

特に、国民健康保険の納付金算定方式の県内統一については慎重な議論が交わされました。令和8年度から、県内すべての市町村で納付金算定方式を統一することが決定されており、これにより保険制度の公平性が高まると期待されています。しかし、急激な保険料の増加が生じないよう、段階的に調整を行う方針との報告を受けました。

また、委員会では、住民への影響が大きいため、市民に対する丁寧な情報提供が求め

られました。市としても、今後の取り組みについて市民にわかりやすく説明していく方針です。

陳情第6号「ガソリン税の引き下げに関する件」では、ガソリン税の引き下げを求める声があり、生活の負担軽減を目的に議論が行われました。委員会では、ガソリン税の引き下げが市民生活に与える影響や、地方自治体の財政に与える影響について慎重に検討が行われましたが、今後も引き続き議論を深めていく必要があるとの結論となりました。

審査の結果

付託された議案はすべて、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

継続審査「倉吉市コミュニティセンター職員の待遇改善について」では、職員の労働条件の向上を目指し、改善案を検討中です。今後、執行部のこの件に関しての受け止め等を精査しながら、引き続き審査を続けることとなりました。

総務産業常任委員会

委員	米田 勝彦 委員長	
	佐藤 博英 副委員長	
委員	朝日 等治 委員	伊藤 正三 委員
	田村 閑美 委員	鳥羽 昌明 委員
	福谷 直美 委員	丸田 克孝 委員
所管	総務部、建設部、経済観光部、農業委員会、会計管理者、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会	

総務産業常任委員会には、議案9件、陳情6件が付託され、執行部の説明を受け、委員会審査を行いました。

議案第29号のコロナ禍での事業者に対する利子補給の財源を基金から一般財源に、議案第31号のパークスクエアを利用する場合の許可権者は教育委員会・市長・指定管理者、議案第38号の水道料金等を上げる条例改正は今年10月1日施行、議案第42号の消防団員の災害補償単価を上げる等を審査しました。

審査の結果

付託されました議案はすべて、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

陳情では、第2号は地域の治安をよくする取り組み等の提案でしたがその中の「治安の状態を数値化する」ことが市としては困難なことから、また第4号操縦士の飲酒運転防止等を求める意見書提出は国が対策を取っている等で賛成少数と、いずれも不採択でした。

第3号の最低賃金法改正・中小企業支援等の意見書提出、第5号の小学校付近の道路安全対策、第7号の食料自給率・家族農業支援等の意見書提出、第8号の裏金問題・団体献金禁止等の意見書提出は、いずれも採択でした。

【議案等の議決結果】

3月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件は、1件でした。議員個人の表決は以下のとおりです。なお、表に掲載していない議案等は、「起立全員」、「異議なし」で可決・同意されました。



【会派名】や...やらいや
新...新公会
共...日本共産党

賛否の内訳

		や										新					共		賛成	反対	議決結果
		朝日等治	大月悦子	大津昌克	福井典子	田村閑美	山根健寛	藤井隆弘	丸田克孝	福谷直美	鳥飼幹男	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	米田勝彦	佐藤博英				
議案番号	件名	議案に対する賛否																			
議会発議 第 7 号	操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書提出について	○	○	○	×	○	○	○	×	－	×	×	×	×	×	×	○	7	8	否決	

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、－議長のため表決に加わらず

請願・陳情の結果

			や					新					共		賛成	反対	議決結果				
			朝日等治	大月悦子	大津昌克	福井典子	田村閑美	山根健資	藤井隆弘	丸田克孝	福谷直美	鳥飼幹男	福井康夫	鳥羽昌明				笠原晶子	伊藤正三	米田勝彦	佐藤博英
番号	件名	委員長報告 (付託委員会)	請願・陳情に対する賛否																		
陳情 第 2号	市民とともに「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取組についての陳情	不採択	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	採択
陳情 第 3号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 4号	操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書提出について	不採択	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	8	7	採択
陳情 第 5号	小学校付近の道路における安全対策について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 6号	ガソリン税の暫定税率の可及的速やかな廃止など、ガソリン高対策の実施を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 7号	国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農業支援強化を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 8号	裏金問題の徹底究明と企業・団体献金の禁止を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、－議長のため表決に加わらず
※請願・陳情は、提出された請願及び陳情に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。

【特別委員会】

【特別委員会とは？】

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

第2次議会改革推進特別委員会

当委員会は、3月14日(金)に第12回の委員会を開催し、全9件の付託事件のうち、

- ①議会の映像配信について
 - ②政治倫理条例の見直しについて
 - ③議員定数、報酬について
- の3事件について調査を深めました。

これらについて一定の結論が出ましたので報告いたします。

①議会の映像配信について

現在は、本会議の一般質問、質疑、討論・採決のみを、ケーブルテレビで放映しているものを、令和7年度からはインターネット配信も加え、時間や場所、媒体に制約されず、誰もが気軽に、より多くの会議を見ることができるよう決定しました。また、議場にモニターを設置し、傍聴席及

委員

朝日 等治 委員長、大津 昌克 副委員長、
伊藤 正三 委員、大月 悦子 委員、鳥羽 昌明 委員
鳥飼 幹男 委員、福井 康夫 委員、藤井 隆弘 委員
山根 健資 委員

び動画等を視聴される方に説明資料を明示するなど、「議会の見える化」を推進していくことを決定しました。

②政治倫理条例の見直しについて

現在の状況を踏まえ、審査を求める請求の要件を厳格化し、市民目線での真相の究明と相応の措置を確立することにより、客観性、公正性、透明性を確保し、恣意的に適用することを防止するよう条例を改正することについて決定しました。

③議員定数、報酬について

「議会の見える化」を重点的に進めることに特化した体制を議会全体で整備していき、市民と語る会や議会報告会など、市民との語らいの中で出た意見を今後の議会に活かしていくことを確認しました。

地域の賑わい創出対策特別委員会

2月10日(月)に倉吉観光MICE協会との意見交換会を行いました。琴桜観光駐車場の利用については委員から、観光バスのショットガン方式の取り入れ、多くの方が利用できるトイレの必要性等の意見がありました。市からは伝統的建造物群周辺を歩く仕掛けづくりも検討したいとの考え方を聞きました。

3月19日(水)には、特別委員会を開催し、

- ①観光駐車場について
 - ②倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画について
 - ③倉吉パークスクエア集いの森整備事業について
- を協議しました。

倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画については、うつぶきループバスを3月30日(日)から土日祝日運行。グリーンスローモビリティは5月からの運行とするが、打吹つながらるモビリティ運営協議会に社協や社会福祉法人も入ってもらい、ドライバーの確保や利用する時の周知に努めてもらうこと。ラッ

委員

田村 閑美 委員長、福井 典子 副委員長
佐藤 博英 委員、竺原 晶子 委員、福谷 直美 委員、
丸田 克孝 委員、米田 勝彦 委員

ピングについては、屋根を倉吉緋の色にし、シートを緋保存会に作っていただき、倉吉市の伝統工芸をPRできる車両でスタートする等の説明を聞きました。うつぶきループバス周遊マップは、運行ダイヤも詳しく掲載されており、わかりやすいマップでした。

倉吉パークスクエア集いの森については、主に美術館オープニングイベントの詳細について説明を聞きました。なお、オープン前の3月25日(火)に、バルコスカフェを含む集いの森の現地見学にて詳細な説明を聞きました。

また、その他として大御堂廃寺跡の状況について、説明を受けました。芝が根を張っていない状態なので、しばらく養生をし、ゴールデンウィーク1週間前くらいから市民の希望があれば出店やキッチンカー、フリーマーケット等のイベントに利用していただくことや6~7月頃からスポーツ利用の貸し出しをするなど、今後の利用計画を聞きました。今後も進捗状況を確認しながら当委員会の役割を推進していきたいと思います。



令和7年2月第2回臨時会 議案等の議決結果

【臨時議会とは？】

突発的事情などにより、次の定例会の開催を待つことができない場合、特定の事件に限ってこれを審議するために臨時招集される議会のことをいいます。

賛否の内訳

議案番号	件 名	や										新				共		賛成	反対	議決結果
		朝日等治	大月悦子	大津昌克	福井典子	田村閑美	山根健貴	藤井隆弘	丸田克孝	福谷直美	鳥飼幹男	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	米田勝彦	佐藤博英			
議案 第 12号	令和6年度倉吉市一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	※	—	○	○	○	○	○	○	○	14	0	原案可決

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、—議長のため表決に加わらず

視 察 報 告

期 間	令和7年2月6日(木)		旅 費 総 額	54,360円
視察先・目的	東京都中央区	早稲田大学日本橋キャンパス	早稲田大学マニフェスト研究所 「地方議員のための自治体財政基礎講座」	
視 察 者	大津 昌克			1人



「飛び出せ! 議場」コーナーに関する 団体やグループなどを募集しています!

議会だより編集委員に『活動を見に来てほしい』『話を聞いてほしい』という団体やグループを募集しています。

希望される場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

【連絡先】

〒682-8611 倉吉市葵町722 倉吉市議会事務局

電子メール: gikai@city.kurayoshi.lg.jp

電話: 22-8145

令和7年 6月 倉吉市議会定例会

【会 期】 6月11日(水)～6月30日(月)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内 容	
6月11日	水	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
12日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
13日	金	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
14日	土			休会	
15日	日			休会	
16日	月	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
17日	火			予備日	
18日	水			休会	
19日	木	本会議	午前10時	付託議案に対する質疑～委員会付託	
20日	金			予備日	
21日	土			休会	
22日	日			休会	
23日	月	委員会	午前10時	予算決算常任委員会(予定)	
24日	火			予備日	
25日	水	委員会	午前10時	常任委員会(総産・厚文)(予定)	
26日	木			予備日	
27日	金			議事整理日	
28日	土			休会	
29日	日			休会	
30日	月	本会議	午前10時	委員長報告～付託議案の討論・採決	



…ケーブルテレビ放送あり

※録画放送は開催日の午後7時から。



…手話通訳あり

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。

会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会

検索



編集後記

倉吉市の出生数は令和元年の359人から令和6年には224人に減少し、5年間で135人の減少となった。毎年400人程度の人口が減少している現在の倉吉市人口は43,280人(R7.4月末現在)で、今後6～7年後には4万人を切る勢い。全国的に人口減少が進む中、倉吉市の人口を増やすのは難しいと考える。持続可能な社会を目指し、戦略的にコンパクトシティのようなまちづくりを進めることが合理的と考えるが、市内のある園の家庭では出生率が2.5人であり、倉吉市の出生率は1.62、鳥取県は1.60、全国平均は1.26。鹿児島県徳之島町は2.25で日本一です。市内のある園の環境づくりに、倉吉市の出生数を伸ばすヒントがある。

(編集委員：山根健資)

議会だより「白壁」
のご意見・ご感想はこちら▶



4月26日(土)、倉吉市民待望の「HOTEL星取テラスせきがね」(表紙)が開館しました。

地元の鴨川中学校では、総合的な学習の時間を活用し、地元への理解を深める「関金いきいきプロジェクト」に取り組んでいます。

その一環として、鳥取大学地域学部の学生とともに実施した、50年後の関金についてのアンケートでは、半数以上が「縮小・衰退する」と回答があったことに危機感を持ち、関金の観光資源である温泉の活用について考察を続けています。

そこで今回は、「HOTEL星取テラスせきがね」の開館について、生徒さんに編集委員がインタビューしました。



Q1 「HOTEL星取テラスせきがね」のオープンをどう感じますか？

- 一般の方だけでなく、合宿にも利用できると聞いて、学生も利用できることがいいと思った。
- 是非、利用してみたい。
- 関金は、小さい頃の印象だと「あまり建物がないな」というものだったけど、新しいものが増えたり、建ったりして変化してきているのがいいなと思った。

Q2 「HOTEL星取テラスせきがね」をどういう施設にしたいですか？

- 子どもの遊べるスペースがあって、小さな子どもでも施設内で楽しめる施設になればいいと思う。
- 自分たちの好きなアーティストが泊まって、イベントなどの催し物が開催され、若者がたくさん集まる場所にしたい。
- インスタ映えするスポットや話題があれば、人がたくさん来てくれる施設になると思う。

Q3 関金のにぎわいづくりについて大人に伝えたいことは？

- 関金でPRしたいものは「温泉」。関金＝^{イコール}○(コレ!)というインパクトのあるものがほしい。
- 子どもが遊べる場所がほしい。例えば、バスケットゴールが設置してある公園など。
- 町民運動会がなくなってしまったので、復活してほしい。

【編集委員の感想】

- ★ 星取テラスせきがねの開館にあたり、地元鴨川中学校にて、関金の賑わいづくりに関して生徒さんにインタビューをしました。緊張しながらも関金愛を感じる素直な意見を聞くことができました。
- ★ 若者の声を聞く！実現！自信をもって伝えるチカラが育つ！このサイクルが大切と実感しました。

